

みやまの里

(農)東山茶業組合
掛川市東山一八二一―二
第65号 令和6年7月

共同摘採の取り組み

農業従事者の高齢化・安定しない茶価、年々厳しさを増す茶業界です。それでも新しいことを取り入れ、時代に合った組合運営をしなくてはならないと二年前から「専属茶師による安定した製造」や「コンテナ茶摘採機による共同摘採」に取り組んで来ました。

以前の製造は班構成で三、四名ずつ交代勤務でしたが、人が替わるたび、同一でない品質になる可能性がありました。それを茶期中は同じ茶師(組合員)が製造し、その組合員の摘採は他の組合員により共同摘採するのです。

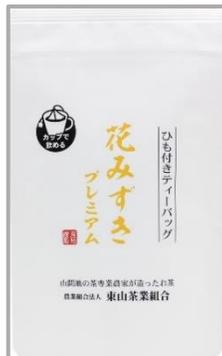
またコンテナ式のトラック導入で四百キロ以上の生葉も、二分ほどで搬入完了できて省力化もされています。



手間なし本格派

タグをはずし湯呑やカップに入れます。80℃より低めの湯で150cc目安。一煎目は1分くらいおいてタグを上下すると抽出します。スプーン等でパックを混ぜるのもおススメ！冷水は50ccで5分おく。2.3杯煎がききます。

花みずきプレミアム
2.5g×20個入り
税込 ¥770



急須がなくてもカップで一人分づつ、こく旨な上級茶を楽しめます。昨今、お茶を急須で飲むという若い人はだんだん少なくなってきました。そんな方も茶葉のお茶一杯の世界観をぜひ味わって下さい。濃厚な甘みときれいな水色、上級茶本来の香りを生かすため火入れは弱めに仕上げております。

新商品ご紹介

当組合で長年人気の「花みずきティーバッグ」のプレミアム版登場。原料は八十八夜頃に摘んだ茶葉「あおい」。粉砕もしないでそのまま「ひも付きティーバッグ」にしました。



ちょっとリッチなTB

「花みずきプレミアム」

お茶刈りの歴史

現代のテクノロジーのスピードは中高齢者にとっては追いついていくのは大変です。それは農業分野に於いてもさまざま、簡単に五十年前のお茶刈り風景を見てみましょう。まずは茶鋏、布の袋が付いたハサミでチヨキチヨキ。次は昭和四十二年頃には電動茶刈機登場、畑の電柱にはコンセントがありました。そして五十年頃二人用茶刈機、一人でも刈れるレール式茶刈機が平成十年頃に。そして今は乗用摘採が主流になり、摘採量は大幅に増えました。



LINE友だち登録でお得 ネット限定

7月~8月末

花みずき3袋セット

商品カテゴリ⇒お得なセットから入る

通常¥2760のところお得なセットで¥2610、さらに友達登録で1セットにつき¥100お得！初めて友達登録すると「300円OFFクーポン」が届きます。

友だち
募集中

@892cdhyr



表示されるクーポン枠にクーポンコードを入力して下さい。300円割引は初回のみになります。もしくは上記1セットにつき¥100割引します。